

ポーランド政治・経済・社会情勢 (2013年10月31日～11月6日)

平成 25 年(2013 年)11 月 8 日

H E A D L I N E S

政治

マゾヴィエツキ元首相の葬儀
トウスク首相がシンガポール首相と首脳会談
NATO演習「ステッドファスト・ジャズ(Steadfast Jazz)」開始
ケリー米国務長官がポーランド訪問
コモロフスキ大統領がイスラエル及びパレスチナ自治区を訪問
シコルスキ外相がイラク外相と会談

経済

欧州委がポーランドの経済成長予測を上方修正
ポーランドは世界で34番目に豊かな国
定年を迎えた人口は696万人
10月のPMIは53.4ポイント
サムスン社が新たな研究センターを開設
タケダ社がウィシュコヴィツェの工場を拡張
ビエドロスカ社の販売が好調
ポーランドの建設市場で市場再編が起こる見込み
GM社がオペル社と旧いすゞ社工場を統合
欧州委がLOTの公的支援に対する審査を開始
PERN社が Odessa-Brody パイプラインの延長を阻止
PGNiG社がガス取引市場に参入
Prairie Downs 社のルブリン県での石炭鉱床の試掘で好結果

大使館からのお知らせ

ポーランド独立記念日の行進に関するご注意
COP19の開催に伴うポーランド来訪者へのご注意
トルンにおける領事出張サービスについて
東日本大震災義捐金受付について
文化行事・大使館関連行事

読者からの情報提供

秋の留学生演奏会のご案内

在ポーランド日本国大使館
ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000
http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政	治
内	政

マゾヴィエツキ元首相の葬儀【3日】

3日、先月28日に逝去したタデウシュ・マゾヴィエツキ元首相の葬儀がワルシャワ市内で国葬の形で執り行われ、コモロフスキ大統領、トウスク首相を

はじめとする政府・議会関係者に加え、ワレサ、クファシニエフスキ両元大統領、バローゾ欧州委員長等も参列した。

外	交
---	---

トウスク首相がシンガポール首相と首脳会談【31日】

先月31日、トウスク首相はワルシャワを訪問したリー・シェンロン・シンガポール首相と首脳会談を行い、最新技術分野における協力及びポーランド産食料品の輸出等につき意見交換を行った。また、この機会に両国当局間の科学協力協定への署名が行われた。

リア・中東情勢、ミサイル防衛システムの設置、防衛協力、経済協力、諜報協力、東方パートナーシップ首脳会合等に関して幅広い意見交換が行われた。会談後の記者会見にて、ケリー国務長官は、米国のポーランドにおけるミサイル防衛システムの設置計画に変更はない点を強調した。

NATO演習「ステッドファスト・ジャズ(Steadfast Jazz)」開始【2日】

2日、NATO 即応部隊の演習「ステッドファスト・ジャズ」が開始され、NATO 加盟国及びパートナー国から6000名の兵士が参加。実動演習(実際に火器・装備品を使用)部分はポーランド北西部ドラフスコにて行われる。演習は9日まで行われ、期間中、コモロフスキ大統領、ラスムセン事務総長他、各国国防相が視察に訪れる。

コモロフスキ大統領がイスラエル及びパレスチナ自治区を訪問【4～6日】

4～6日、コモロフスキ大統領は、イスラエル及びパレスチナ自治区を訪問し、4日にイスラエルのペレス大統領及びネタニヤフ首相との間で二国間関係、中東和平問題、中東情勢、反ユダヤ主義と闘う重要性等につき意見交換を行い、5日にパレスチナ自治区のアッバス大統領との間で中東和平問題を中心に意見交換を行った。

ケリー米国務長官がポーランド訪問【4～5日】

4～5日、ケリー米国務長官は、ポーランドを訪問し、5日にシコルスキ外相との外相会談、トウスク首相との会談、米兵が駐在しているワスク空軍基地への訪問等を行った。外相会談においては、シ

シコルスキ外相がイラク外相と会談【6日】

6日、シコルスキ外相は、ワルシャワを訪問したズィーバーリー・イラク外相と外相会談を行い、ポーランドの対イラク投資をはじめとする二国間関係、シリア、イランをはじめとする中東情勢等につき意見交換を行った。

経	済
---	---

経済・財政政策

欧州委がポーランドの経済成長予測を上方修正【5日】

欧州委は最新の経済予測で、ポーランドの経済成長を、2013年は1.1%から1.3%へ、2014年は2.2%から2.5%へと上方修正した。他方、

2013年の財政赤字は3.9%から4.8%へ拡大するとしている。また、インフレ率は2013年が1%、2014年が2%、2015年が2.2%と予測している。

マクロ経済動向・統計

ポーランドは世界で34番目に豊かな国【31日】

最新の調査でポーランドは、対象となった世界142カ国中34番目に豊かな国となった。経済成長が続いているにも拘らず4年間で順位は4位下落しており、国民の精神的な豊かさとは結びついてい

ないことが判明した。項目別に見ると、最も順位が高い項目が安全・保安面で第26位、一番低い項目が個人の自由度で第55位となっている。また、順位が大幅に下がったのが社会資産で11位も下落している。

定年を迎えた人口は696万人【31日】

中央統計局(GUS)によれば、6月末の時点で男性で65歳、女性で60歳を迎え定年している人口が、前年同期の675万人より21万人増加した696万人となった。他方、就労可能人口は、前年同期の2,451万人から16万人増加した2,467万人に止まっている。

10月のPMIは53.4ポイント【4日】

10月の購買担当者景況指数(PMI)は、9月の53.1ポイントより更に上昇した53.4ポイントとなった。これは2011年4月以来の高い数値。新規受注の伸びが大きな影響を与えており、標準値である50ポイントを4カ月連続で上回っている。

ポーランド産業動向

サムスン社が新たな研究センターを開設【31日】

サムスン社がポーランドでポズナン、ウッジ、ワルシャワに次いで4カ所目となる研究・開発センターをクラクフに設立した。他のセンターではデジタル・テレビや携帯電話のソフトウェアを開発するが、クラクフでは基地局のソフトウェア開発に注力する。数十人が既に同研究所での業務に従事している。同社研究開発部門の担当者は、クラクフでのセンター開設によって地域の大学とのよりよい協力関係が得られると述べている。同社はコモロフスキ大統領から、2,000人の高度専門家を採用するサムスン社のポーランドの研究・開発センターが同社の欧州第1位、世界第3位の研究・開発拠点となっていることに満足しているとの旨の感謝状を受け取っている。PAIIZによれば、サムスン社はポーランドの全研究・開発センターの12%の雇用を創出している。

タケダ社がウイシュコヴィツェの工場を拡張【4日】

タケダ社がウイシュコヴィツェ(Lyszkowice、ウッジ近郊)工場を拡張し、生産能力を50%増強、雇用も33%増加させる。2014年にプロジェクトは完了する予定。今回の拡張は他の欧州諸国からポーランドへの生産能力の移転も関連している。タケダ・ポーランドのソブチャク社長は、同社はポーランド市場を重視していると述べている。本年はSandoz社が新たなプロジェクトを立ち上げ、Adamed社、Medana Pharma社及びPolfa Warszawa社といったポーランド企業も新規生産能力への投資を行う見込み。

ビエドロンカ社の販売が好調【4日】

ポルトガルの小売業者である Jeronimo Martins社が所有するディスカウント店のビエドロンカ社の販売収入が2013年第3四半期に前年同期比12.5%拡大した。また、1-9月期では前年同期比15.5%増となる56.4億ユーロの販売を記録した。店舗数は昨年末時点の2,125店舗から2,245店舗に拡大している。

ポーランドの建設市場で市場再編が起こる見込み【5日】

ポーランドの建設市場で吸収・合併が多数予測されている。財務が悪化している企業のうち数社が事業の一部売却に動いている。モストスタル・ワルシャワ社は、プウォツク、プワヴィ及びキエルツェでの事業部門の売却先を探しており、ポリメックス・モストスタル社も同様の動きを見せ、子会社の Torpol 社の売却では20以上の候補が挙がっている。ブディメックス社も、将来大型の取引が行われることを示唆している。

GM社がオペル社と旧いすゞ社工場を統合【5日】

GM社はポーランドに、グリヴィツェの自動車生産工場と、エンジンを製造する旧いすゞ社ティヒ工場を有していたが、今般、両社を1つの会社に統合した。統合後、雇用者数は3,500名となり、そのうち3,000人がグリヴィツェの工場に従事することになる。また、統合により、人材移動、エンジニアリングのノウハウなどを共有することが可能となる。また、ロジスティクス、調達、人事やその他のサービスも1カ所にまとめられる。今回の統合により、オペル社にとってポーランド子会社は、完成車とエンジンの双方を製造する欧州で唯一の拠点となった。この結果、新規モデルの生産場所の選定にポーランド拠点は有利となる。

欧州委がLOTの公的支援に対する審査を開始【6日】

欧州委は、ポーランド航空(LOT)が要請している804億ズロチのポーランド政府による救済支援を承認すべきか評価するための審査を開始したと発表した。LOTが今後は公的支援を継続することなしに再生できるか判断することを審査の目的とするが、LOTは2012年12月に4億ズロチの救済援助をポーランド政府から既に受領しており、欧州委はこれを5月に承認している経緯がある。

エネルギー・環境

PERN社が Odessa-Brody パイプラインの延長を阻止【31日】

ポーランドの石油パイプライン管理会社である PERN Przyjazn 社が、オデッサ-ブロディ・パイプラインのポーランド・アダモヴォへの延伸を阻止している。同プロジェクトを管理するために設立されたサルマティア社の臨時株主総会で、PERN社は延伸の実行を含む全ての提案に反対票を投じた。サルマティア社は、アゼルバイジャンのSOCAR社、グルジアのGOGC社、リトアニアのKlaipedos Nafta社及びウクライナのUkrtransnafta社の共同所有となっており、欧州—アジア原油輸送回廊の創設に向けて協力することを目標に設立された。

PGNiG社がガス取引市場に参入【31日】

PGNiG社はポーランド電力取引所(TGE)と11月1日以降ガス取引市場に参入する契約に署名した。PGNiG社はガス取引所で直接ガスを売却する初の企業となる。今回の参加は9月に発効した改正法を受けたもので、ガス会社は一定割合を取引所で販売することが義務付けられている。

Prairie Downs 社のルブリン県での石炭鉱床の試掘で好結果【4日】

豪州系鉱山グループのPrairie Downs社は、ルブリン県の石炭鉱床での試掘で高品質なコークス用石炭を含んでいることが判明するなど好結果が出たと公表した。同社は、欧州の電力会社だけでなく、製鉄産業も戦略的な関心を持つことになるだろうとしている。

大使館からのお知らせ

ポーランド独立記念日の行進に関するご注意

11月11日は、ポーランドにおける独立記念日であり、ワルシャワ市内各地においては、同記念日を祝う行進など大規模イベントが複数開催されます。同行進に関する注意点を当館HPに掲載しております。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/Independence%20Day-INFO.pdf>

COP19の開催に伴うポーランド来訪者へのご注意

本年11月11日から22日までの間、ポーランドのワルシャワ市において第19回気候変動枠組条約締約国会議(COP19)が開催される予定です。同開催に伴うポーランドへの来訪者への出入国上のご注意を当館HPに掲載しております。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/COP19_2013.pdf

トルンにおける領事出張サービスについて

大使館は、11月30日(土)10時から13時までの間、Hotel Mercure Helios(ul. Kraszewskiego 1/3, Torun)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは下記当館HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/torun_consservice20131130.pdf

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成26年3月31日(月)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】 鐔・日本装飾技術の傑作展【10月12日(土)～2014年3月9日(日)】

トルン市にて、ポーランドのコレクションから日本鐔の展示会が開催されています。

問合せ先:トルン地域博物館 (Muzeum Okregowe w Toruniu)

ホームページ: <http://www.muzeum.torun.pl/portal.php>

開催場所:トルン市, Kamienica pod Gwiazda, Rynek Staromiejski 35

【予定】オルシテイン日本デー【11月9日(土)～10日(日)】

オルシテイン市にて、文化館で「日本デー」が開催されます。着付け・折り紙・紙芝居・剣道・書道・茶道など、様々な行事を行ないます。

開催場所: Sala Kameralna Pod Amfiteatrem (ul. Zamkowa)

問合せ: 電話 89 522 13 72

詳細:

<http://naszolsztyniak.pl/108660,Origami-kimono-i-herbata-Dni-Kultury-Japonii-w-Olsztynie.html#axzz2icxrlayJ>

【予定】「ポーランド・日本。友好の100年」書道展示【11月12日(火)～12月1日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館にて高橋里江氏による書道展が開催されます。書道ワークショップも予定されています。

開催場所: 日本美術技術博物館

問合せ: 電話 12-267-37-53

詳細: <http://manggha.pl/>

【予定】「Jaztopad」音楽フェスティバル【11月14日(木)～24日(日)】

ヴロツワフ市にて、ジャズの音楽祭が開催されます。22～23日は特に日本のアーティストのコンサートや映画上映会、和食の紹介が予定されています。

開催場所: Filharmonia Wroclawska, Pilsudskiego 19

問合せ・申込み先: 電話 71-343-85-28

詳細: www.filharmonia.wroclaw.pl

読者からの情報提供

秋の留学生演奏会のご案内

トルン市にて、ポーランド日本人会主催の留学生演奏会が開催されます。トルンは地動説で有名なコペルニクス生誕の地です。そのコペルニクスにちなんで、今回の演奏会のテーマは、「秋の星空」となっております。日本人留学生のほか、ポーランド人学生も参加予定です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日時: 2013年11月16日(土) 14時開演(13時50分開場)

場所: Centrum Kultury Dwor Artusa (Rynek Staromiejski 6, 87-100, Torun)

問合せ先: ポーランド日本人会事務局 (biuro@nihonjinkai.pl)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)

(ご連絡は電子メールでお願いします。)